

教科書検討の観点からみた特色

情報 I / 116 日文 / 情 I 710

1. 内容（特色のある教材や記述）

- 学習指導要領に基づき、幅広く高度な知識や技能も積極的に取り扱われている。
- 解説は一般論で詳しく、関連する資料も充実していて理解を深めやすい。
- 巻頭資料には図解表現、情報デザイン、プレゼンテーション、レポート作成等のテクニックがまとめられており年間を通して使いやすい。
- 巻末資料には HTML と CSS, JavaScript, Python に関する基本事項がまとめられており、年間を通して使いやすい。

2. 構成（特徴のある単元の組織・配列）

- 序章のチェックリストは生徒の理解度を把握するのに活用できるほか、自己評価にも使える。
- 「問題解決」についての解説が第 1 章にまとまっていて使いやすい。
- 第 1 章は「TRY」と「GUIDE」の組み合わせで、問題解決の流れを体験しながら、情報社会についての基本的なことを学ぶことができる。
- 「章末実習」に対応する形でまとめられた「技法」は、各実習に取り組む際に役立つトピックがまとめられており使いやすい。
- プログラミングの内容は例題を中心に構成され、順を追って理解を深めることができる。
- 章の構成は基本的に「情報 I」の学習指導要領の並びと同一で対応がわかりやすく、授業準備をする上で全体像の把握がしやすい。

3. 分量（教材の分量や詳しさのバランス）

- 見開き完結で内容が整理されていて、扱いやすい。
- 「情報 I」の目標を達成するのに必要な解説が充実している。
- 読めば理解できる十分な文章量で、自学自習もしやすい。
- 用語の意味は側欄で詳しく説明されていて、その量も十分である。
- ソースコードの例はシンプルに示されており、分量も適切である。
- 図表や写真はわかりやすく、効果的に用いられている。

4. 表記・表現（使用上の便宜）

- 本文での解説は冗長な部分はなく、適切である。
- イラストや図解が充実していて、視覚的に内容を理解しやすい。
- 無駄のないレイアウトですっきりとした印象があり、読みやすい。
- 側欄で説明されている用語には番号が振られ、対応がわかりやすい。

5. 創意工夫（学習の動機づけ等の工夫）

- 側欄に示された「やってみよう」「話し合ってみよう」などの学習のポイントは「主体的・対話的で深い学び」で活用できる。
- 側欄などに示されたキャラクターのセリフは、学習内容を身近に感じさせながら、必要な気づきを促すことができる。
- 2次元コードからアニメーション教材や用語問題集にアクセスすることができ、知識の定着をはかることができる。
- ページ番号上下に2進表現と16進表現が併記され、基数変換の理解を助けることができる。
- 見開き右下に示されたパラパラ漫画は、動画のしくみの理解を助けることができる。
- キーボード操作に不慣れな生徒が増える傾向にある中、巻末に「キーボード配列の例」があり、コンピュータが無い場所でも内容が確認できる。
- 基本的な電子メールのマナーが巻頭資料にまとめられており、コンピュータで電子メールを使ったことのない生徒への指導に役立つ。

6. 学習の深まり（他教科，総合的な探究の時間との関連等）

- 第1章の問題解決の考え方や、各章の技法で扱われる実践的な内容は、他教科や「総合的な探究の時間」での学び、卒業後の進路においても役立つ。
- 第4章の「技法」には統計的な手法の解説がまとまっており、数学科との関連を意図した授業を展開しやすい。
- 「関連資料」には大きな写真やイラストを用い、最新の情報通信技術やその活用事例が紹介されており、「情報Ⅰ」で学ぶ内容と実社会とのつながりを知ることができる。

7. 学習環境への配慮（学校の独自性への配慮）

- 学習内容は一般論で説明されていて、特定のコンピュータやソフトウェアに依存していない。
- 実習で必要になる各種データや成果物の完成例ファイルは、教授資料等でサポートされている。

8. その他（その他の全体的特徴，周辺教材の状況）

- 全ページ4色刷りでカラーユニバーサルデザインにも配慮されており、印刷も鮮明である。
- 全体にわたってUDフォントが用いられており、読みやすく、読み間違いにくい。
- 長期間の使用に耐えられるよう表紙は丈夫で防水性もあり、製本も堅牢である。
- 環境への配慮から再生紙と植物油インキが使用されている。
- 教科書での指導を支援する教授資料や周辺教材が充実している。
- 教授資料には教科書のデジタルデータが添付されているため、必要に応じて加工するなどして便利に活用できる。